

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表日：2026年10月1日

事業所名：児童発達支援 アイビーキッズ越中島

期間：2026年8月11日～2026年9月4日

対象人数（スタッフ）5人 回答者数 5人 回収 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		仕切りで区切っている点 人数が5人ともい時でも机の上と運動で分かれています。スペースを有効活用できている点。子どもが遊ぶ時は、スタッフ同士話し合い、机の上・運動の時間を分け、運動スペースも話し合っています。	室内レイアウトの見直しや時間割に応じた空間の区切りなど、動線と安全面に配慮した工夫を継続・強化いたします。限られたスペースの中でも子どもが伸び伸びと安全に活動できるよう、環境調整とプログラムの最適化に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子どもの配置スケジュール表の時に振替希望の名前があるので、当日休んでも振り替えの連絡をしやすい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		事務所の壁に貼られているため電話をとった際に声が聞けなくなっているが気になる。聴いて欲しい時は視界に入らないように隠したり、聴いたらダメのマークを貼る等子どもが分かりやすいように工夫されている。	ご家族のプライバシー配慮を徹底するため、面談時における音漏れ防止策や相談環境の工夫を迅速に導入いたします。今後もご家族様께서安心してご相談いただける環境の整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		スタッフ全員で清掃しており、行き届いている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		バーテーションや可動棚で区切ることにより個別での対応ができる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	4	1	当事者意識が低いため、自分ごとのように考えることができるようになる必要がある 毎日の朝礼や昼礼、終礼で子どもの様子を共有したり、今後はこうした方が良いということも話し合っている。	定期的な面談や会議の機会を通じて、いただいたご意見や課題を迅速に支援の現場や事業所運営へ連携する仕組み（PDCAサイクル）を継続・強化してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		より良い環境になるように教養会議などでケース会議や日々の終礼などで見え共有できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部講師の研修はとてよい	
	11	適切な支援プログラムを作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれも支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		多様な職員の体質不適合等の際、他の職員が協力して立案を行ったり、チームで連携して行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		お互いに声をかけ、というルールの基で声掛けが行われていることがある	
	21	支援終了後に職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、生じた改善を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		次に繋がるような記録とはなっていないことがある	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の児童への必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（生活支援や地域医療連携）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や併行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小・中)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	（27）とは、センターとの関係）地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の視の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみの回答）地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや他県等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	以前系列の保育園と交流があったが、廃止になった	近隣施設や関係機関との連携可能性を探索し、安全面やプライバシーに配慮しつつ、インクルージョンの観点に基づいた地域交流や情報発信の機会づくりに取り組んでまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		同時に家庭での様子も察知している為、家庭での様子とこどもの様子を保護者と共有することができている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
保護者への説明等	35	（35は、事業所のみの回答）児童発達支援計画等について、事前説明や説明会等を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		施設長が保護者と面談をしたり、療育に入っているこどもの園りごとを把握されている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		保護者様同士の情報交換の場や、ご家族・きょうだい先の皆様にご参加いただけるイベント等の機会提供に向け、事業所として具体的な企画・実施を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報等の漏洩に十分留意しているか。	5			
	43	毎月のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	1	4		近隣施設や関係機関との連携可能性を探索し、安全面やプライバシーに配慮しつつ、インクルージョンの観点に基づいた地域交流や情報発信の機会づくりに取り組んでまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、仮置きや予知情報、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			